

琉球大学学術リポジトリ

講義ノート：国際経済論 [国際経済論への接近]

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/38481 |

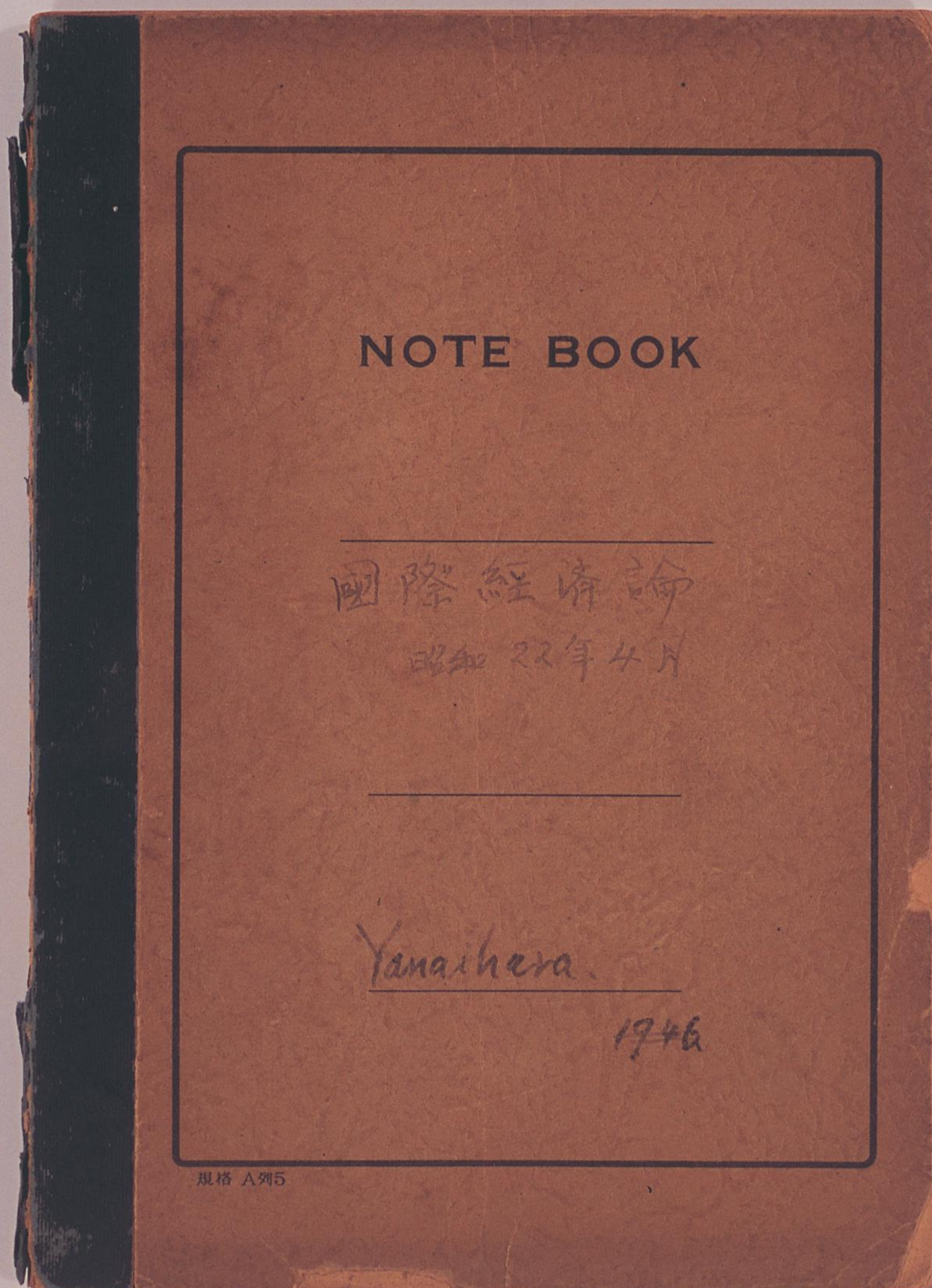
矢内原忠雄文庫

| | |
|-------|--------------------------|
| 史料名 | 国際経済論 昭和22年4月[国際経済論への接近] |
| 封筒番号 | 516 |
| 原文所蔵者 | 琉球大学附属図書館 |
| 撮影年月日 | 平成 17 年 11 月 22 日 |
| 撮影者 | 富士写真フイルム 株式会社 |
| 備考 | |

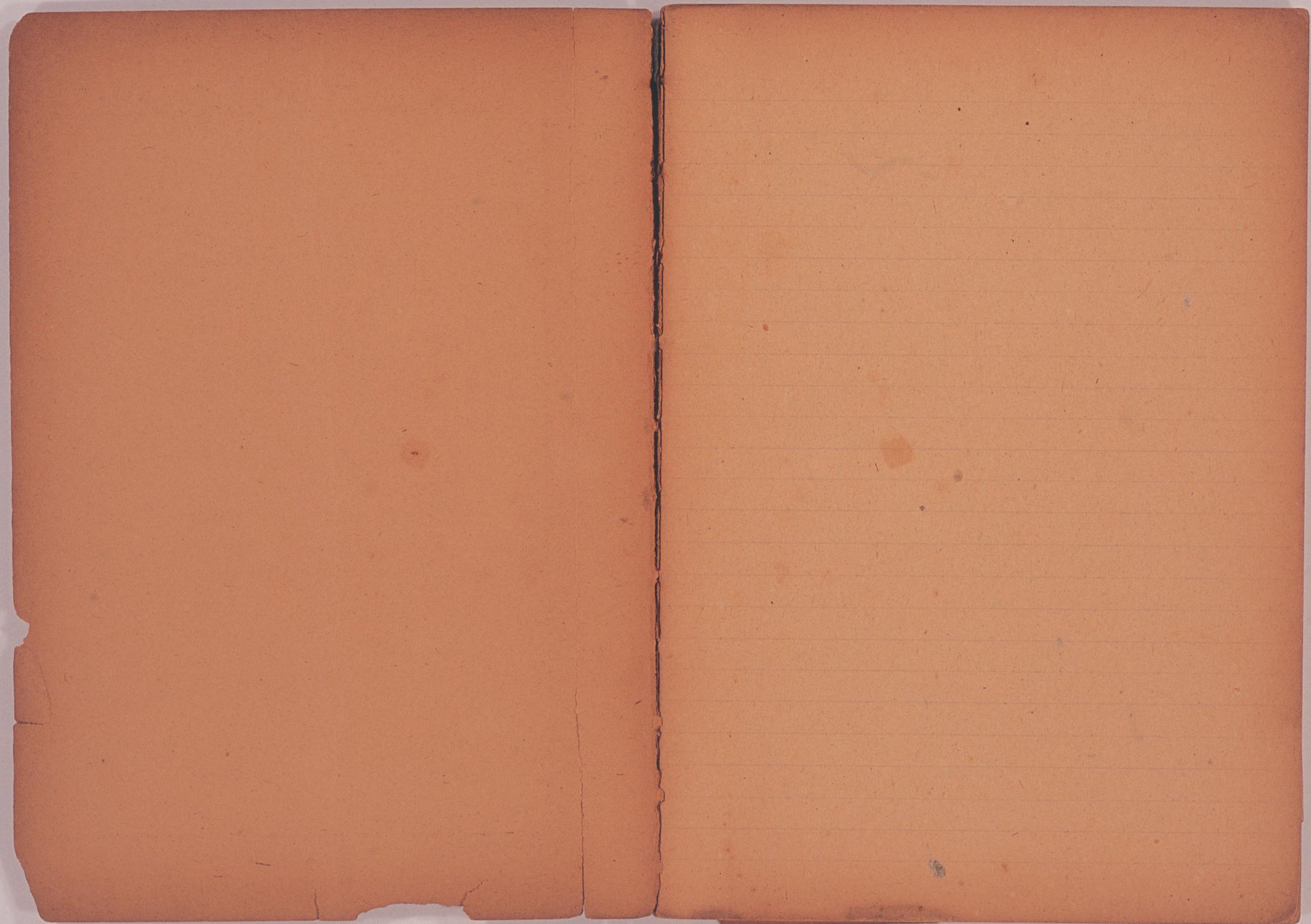
矢内原忠雄文庫

封筒番号： 516

| | |
|---------|--|
| 史料名 | 国際経済論 昭和22年4月[国際経済論への接近] |
| 資料形態 | ノート |
| 枚 数 | 21 |
| 頁 数 | 42 |
| 縦 (cm) | 21 |
| 横 (cm) | 15 |
| 厚さ (cm) | |
| 書誌的事項 | <p>講義ノート</p> <p>記述は18枚目まで、17枚目2枚、18枚目1枚に挟み込み資料あり。酸性紙？劣化著しい。</p> <p>今泉分類記号： Y</p> |



1/10



Emery Reves, The Anatomy of Peace, 1945.
275 pages.

I. A Copernican World

Part I

- II. Failure of Capitalism.
- III. Failure of Socialism
- IV. Failure of Religion
- V. Road to Fascism

Part II

- VI. Nation-Feudalism.
- VII. What is War?
- VIII. The Historical Meaning of Sovereignty
- IX. Treaty or Law
- X. Super-State and the Individual

Part III

- XI. Fallacy of Internationalism
- XII. Fallacy of Self-Determination of Nations
- XIII. Fallacy of Collective Security.
- XIV. The Melee
- XV. Law.... Conquest.

Industrialism versus Nationalism.

第一章 國際經濟論への接近

國際經濟論を研究するには三つの道がある。

(一) 國民経済の膨張としての國際経済の研究。これは一國の國民経済の維持若しくは発展といふ見地から國際経済を見るものであつて、一國の労働力、商品及び資本がいかうに國外にいかうに輸出せられるか、又いかうに國外よりいかうに輸入せられるかを研究するものである。此の場合植民地は Bornhake の所謂「國際経済的には内面、資本法的には外面」なるものとて、特別に重要な地位を占める。(Sabersky, Jr. Der Kolonial-Inlands- und Auslandsbegriff)。此の意に於ける國際経済論の實體を為すものは帝國主義論である。

國際経済の unit を國民経済と見るものならば、労働力、商品、及び資本の國民性を認識するものあり、(國民資本若しくは民族資本)、従つて國民若しくは民族としての事實の研究に接続する。

(二) 世界経済の成立に着眼し、世界の立場よりする國際経済の研究。世界は歴史的には個々の国家に分れてゐるが、経済的には資本を以てする規模に於いて商品及び資本の世界市場が成立し、世界経済及び世界資本の需要供給單位は世界的に運動する。各國民の富(總消費力)の内容(種類)は世界的に構成され、各國民の生産物(商品)は世界的に分散され、各國民の所得は世界の Konjunktur により影響を受ける。國際的に運動する諸物の中、労働力は商品、商品より資本の方が國際的に動くもの。而して ~~資本は~~ 世界経済の ~~主要な~~ 要素である。國民的資本の範疇を以てする超國民的、世界資本が成立する(國際資本、世界資本)。世界各國民の経済の有様的連動と國際資本の成立とは、確然としては世界國家の構成に準く (Reves, Emery. The Anatomy of Peace, 1905)。これは帝國主義的の意に於ける世界帝國の建設、即ち世界征服の概念とは異なるものにして、世界の経済的連動を政治的に投影し、之によりて世界の平和を確信し、世界の平和を確信することによりて國民の経済を維持発展せしめようとするものなり。世界各國民の経済の有様的連動は単に世界國家を形成するばかりに統一の對し、又單に経済的連動のみにて世界國家の實現を保障し得るものではない。(國家形成の経済的要素)。かくて次の

二つのことには言ふことが出来る

(1). 世界経済の立場から貨幣、生産及び所得の研究
することが可能である。 ^{（見直し）}

(2). 人類の生活の単位が国家よりはるかに範囲を要求し
てゐる。 ^{（経済の単位）} 国家は天賦的であり、小国寡民の経済
主義でなく、強さによる帝国主義の支配をもたらし、民族国家を
包含しつつ更に上を越えたる範囲及び能力の ^{（経済）} 統一の
なる経済形態が、人類の生活力の発達、調整とに要求
せられてゐるのである。

(三) 諸国民経済の比較研究。 諸国民経済の ^{（経済）} 比較
研究の進歩は諸国民について一様であり、而して国民の所得
に ^{（経済）} 影響を及ぼすものがある。 ^{（経済）} 増加の速さにはあり。
Adam Smith曰く、「貨幣の貨幣の増加をいふことは
国家の富の現実の大きさではなく、その ^{（経済）} 増えかたの増加である。
それは、貨幣の貨幣が最も多いのは、最も富んだ国にあり
てはなからず、最も早く行つて、最も早くいへば最も速
に富みつつある国にありてゐる。」「北アメリカは今日まで
のどの代りに入れば富んではゐるまいけれども、それはより富
みつつあり、列島の道を一歩の快進力を以て前進してゐる。」
「その富が非常に大きかつた。それは長く停滞して
ゐるもの。それは、貨幣の貨幣が非常に富みつつある
期待をこえては出ない。」「支那は長い昔長い昔世界におけ
る最も富んだ国、即ち最も肥沃な、最もよく耕作され、最も
勤勉な。そして最も人口の多い国の一つであつた。おかし
きは久しい停滞的であつたやうに見える。」「支那に於ける下
層民の貧困は、ヨーロッパに於ける貧困の国々より甚だ
しい。」（大内清博士著、新編十八世紀の貨幣の増進
pp. 140, 141, 144）。富の増加の速さの速さは、^{（経済）} 停滞
あり、停滞せざるあり、その原因を探究することは、^{（経済）} 諸
一つの目的とせざるを得ない。（Health of Nations）。
諸国民の経済の構造、生産段階、生産量の比較
研究を ^{（経済）} 目的として、人類生活力の発達
と富の分配について、法則を知ることが可能である。

の形である。

国際経済の研究には上述の三つの道程は三つの内容
があるが、いづれにしても国際経済学と密接な関係がある
わけである、経済学の一部として研究せしめものである。

第二章 民族主義

1) 民族の概念

人類社会の基本的形態は氏族 gens, gentes, Sippe
であり、氏族は人口の増加に伴い一方では更に氏族
を派生せしめ共に他方では他の氏族と連合して
種族 tribe を為す。種族は種族連合体となり
種族連合体は更に民族に発展す。即ち民族は
史前史のある段階に於いて成立した歴史的存在たる
なり。氏族は血縁社会にして同時に同一の
言語団体、宗教団体である。種族に至りて地縁的要素
を加味せしめ、尚ほ~~種族~~種族的または血縁的結合
体なり。種族連合体を経て民族となるに及ぶ、地縁
的要素が更に顕著となる。是れ社会群の発達
段階を支配する目標は階級の成立なり。即ち氏
族社会においては、氏上は氏族の宗教的社会的 tradition
の維持者として目せられ、女子としては Elche 氏族
関係と有するに於て、種族としては「別個の階級で
るに於て」といふは「氏族の共同社会の symbol たり
しにすぎず」階級の成立したる原因は二様あり。一は
他の氏族を征服したることにより、征服氏族と被征服
氏族との間に階級関係を生ずること。他は土地に
関する所有財産制の発達に伴ひて階級関係を生ず
ること。階級関係の発達には政治的権力の~~発達~~
を要せしめ、遂に国家といふ政治形態を~~形成~~
せしめり。然らば人類の社会群の発達はいか

般に達した時、これを民族と云ふべきであらう、この明確な例として、これには次の三つが有る。

(1) 異なる民族が同一地域に共に生活することにより、能く融け合つて一つの共同意識を有すること。

(2) 土地私有制と専断的な生産の増進を見ること。

(3) 階級的権力という国家権力が発生すること。
以上三つが特長として、民族の発生が一般に成るものではない。長き歴史過程の中に徐々に形成せられたものとして、民族は

以上三つに知られるが、民族は主として人々の社会関係から形成され、政治的発展の過程に到達したものである。これは民族、次に民族の発展の過程に於いて、同一の血縁、地域、文化、習俗、宗教、言語、生活習慣、共同意識を有するものとして、これらが何れも同一概念に属する。専断的な生産と専断的な国家形成の発生と関係があるとして同一概念に属するものもあるが、概念的には民族と規定する。Otto Bauer, (Nationalitätenfrage und die Sozialdemokratie, 1924) は民族を定義して、民族は地域血縁等自然的共同基礎の上に、法律、宗教、風習、習俗、文化等共同を契機とする運命共同体を造り出すことである。得てこの運命共同体の範囲は国家的なものである。これは共同意識の性質もまたこれに属する。民族は概念的に範囲として生活共同体。

的定として「民族」として「変化し行くもの」。

(二) 民族主義

民族の定義は古くあるが、民族意識が国民意識の指導的原理として現はることは近代のことである。少くとも近代の意義に於いて民族の自覚はフランス革命以後のことである。Nation という語は Latin 語の Natio (出生、若しくは人種) より出たものである。十七世紀に於いて人種的関係に於いて一國の全住民を Nation と呼ぶ用法をとり、この用法が一般化することにはフランス革命の時代から、フランスの第三共和政の時に *Assemblée Nationale* と呼ばれた。フランス革命に於いて "Nation" という語は、一方では「ブルジョア」の「主権の原則」を打ち立て、フランス国家は全フランス人の集合であることと主張された。デモクラシーの意味に用いた、他方では対外的にドイツの侵入に對する防衛上全フランス人を視同するに當たせられた。 slogan として用いられるようになった。(民族と平和, P. 65) 以上「民族主義」なる政治思想は一方では国内の「民族統一」、他方では他の民族に對抗するものとして、その内容はブルジョア・デモクラシーの資本主義的近代國家成立運動である。この意味に於いて民族運動は國民運動と同視する。民族主義は民族主義は産業資本主義、これは民族主義の

(IV) ~~2.2.20~~ Lenin 21, (Gegen den Strom, S. 30-31).

「民族と平和」 p.88 ~ 31142

「民衆と平和」 p.88-90.

従つてたとて Proletariatの^(決然)要求が成立して、これからの階級
闘争は世界、平和は實現せず。國際階級の平和の要求の爲め
には 世界階級の不安、^{人類の}戦争の發達を必要と
す。社会主義は世界平和の代名詞と成つてゐるが、戦争と平和と
國際制。 — Sozialimperialismus

ソノ時。Imperialism.

X 民族資本と民族Proletariatの合同した勢力は既に外資に勝つ
(排除し、完全な)

(IV) 植民地政策の趨勢に於いて民族問題を先とするは、階級問題を先とするは、學問上の問題といふよりもむしろ政治上の問題なり。資本家階級は外國資本に對し貿易的役割りをするに努むるから故に階級論によりて民族平等の独立を獲得するを得ず。Protectionist 國府の政策は民族独立の先決條件なりと爲す論あり、されど階級問題によりて民族の生産力を消耗すれば、^{その}國際競争に於いて民族の独立をおくはるゝに不能し、故に産業資本の独立を獲得するに先づ階級運動の正當なる發展の前提ありとすの論も立つ得べし。又資本の階級的國際化とし、資本の國際性が事實とされしに對し、各民族資本の對立、競争といふ事實もあり。労働者の國際的意識の成立は資本を階級に比してむしろ困難なり、それは労働力の階級性（階級的流動）は資本の國際化に比してむしろ少くが原因（特許制限）。各有用の資本を階級に對抗する点に就いては ~~階級~~ 國際の利害關係を有すれども、^{國際的利害關係を有する} 階級の Protectionist たるものに對しては必ずしも共通の利害を有するものあり。又各國の資本と労働者とが必ずしも利害を異にするものにあらず。例へば一國の Social Dumping と阻止するものとの資本労働者階級の生産水準を向上せしむるを要求するは、以貿易競争に於いて労働者階級の利益であり、資本家階級の利益とて或る即ち國民の利益とすべし。

→ 支那の北清は 民族主義の丰美 熟 なる中に 1856 年の革命、
(中興党) が 染着したものにあり、
Poland, Ireland. — アイルランド 内政の空位 (p. 312)

1949, Jan. 5th.

第三章 帝國主義

第一章 帝國主義の意義

第、帝國 Imperium と云ふ言葉は Rome 時代には最大路の
 にて、Rome 人の本國と Colonia と 異民族の地とを包含する
 Rome の全統治地域を指し、その統治者としての Caesar を
 Imperator と云ふ。一民族の本國とその征服地を含む
 政治的支配の全區域としての帝國といふ事實は Rome
 よりも古の時代からあり、又 Rome 以後にもあり。併し乍ら
 特に帝國主義 Imperialism と稱せられた時代は自由主
 義時代の後をうけて現はれた。特定の工業の段階にして、
 大体 19 世紀の七八十年代以後のことだ。帝國主義は
 近代の國家形成の時期に於いて、それは三つの果に於いて各國
 の植民地獲得を刺激した。① 産業資本の本来的蓄積中
 でのこの資金の獲得。② 封建社會の近代化に伴
 ふ過剰人口の排出。それは三つの形態があった。(a) 封建
 的地主の没落。(b) enclosure の進行に伴う過剰農民の没
 落。(c) 宗教上の dissenters の没落。③ 本國の staples
 需要品(主生原料)の毀滅。④ 本國の糧食(本國食糧一本利)

高度経済時代に於いて敗北国は PIP 及び GDP
に於いて多大なる欠乏を獲得し、しかし、高度資本主義が確
立するまでの自由競争の時代とすることに反り、植民地の重要
性には殆ど見解は異なる。治癒的 *Colonial monopoly*
は "national wealth の三つの要素のうち、① colonial monopoly
は national wealth の中に relative importance が高
まり、絶対的には不十分であり、程々資本の増強の為め

民族主義 Nationalism
帝子之義

—— 意識的 ideologie
—— 意識 (觀念)

帝國主義 - colonial expansion
 民主主義 - democracy
 主義) or ideology

普字圖 - international
 democracy.

不利あり。資本の移動は今や市場の探奪の方便によらず、各
 国との交渉により、その中心より生ずる ^{ニヒル} ~~ニヒル~~ ところなり。② 産業
 革命時代に比し、植民地獲得の獲得及維持の ^新 ~~新~~ 戦争が、
 数回の大規模となり、公債の増発に甚しむに及ぶ。主として
 産業革命の ^新 ~~新~~ 減少を意味し、拡張再建の要求に会
 ず。③ 封建的国家、国際関係が崩壊し、 ~~新~~ ^新 封建
 主義の時代 ^{各々の} ~~各々の~~ 国際的地位がほぼ安定し、
 主として ^{各々の} ~~各々の~~ 産業の発展が認識せられる。主として
 各々の free trade を奨励する所あり。以上三つの理
 由に依りて、米国の独立戦争は Turgot の言ひたる如
 く「植民地は株權の出し、返すは「本より得ず」との maxim
 を生ず。植民地領有を冷却せしむ。しかも米国の
 後、英米の対米貿易は減少せむと云ふが、米国の繁榮
 の増大と共に、英米 ^{各々の} ~~各々の~~ 産業は拡張せられ、自由
 貿易の原理の正否を証明せしむるものなり。 ^{juve} ~~juve~~ 10

530 1870年代に入ると、世界貿易の急激な
 不振の状況が現れ、^{the} 振興其他外に政治的
 的資金の集中を伴う、^{the} 市場に於ける競争力に
 影響が現れた。この事実を認識して、過去半世紀に亘り
 疑念をかきたてた政治的公理として承けられた自由
 貿易政策の政策の変更を唱へた者如、^{the} 1872年
 Disraeliに於て、彼は1872 Crystal Palace に於ける
 演説にて Imperial Federation の必要を唱へた。
 これが近代の初めに於ける帝國主義 Imperialism とは別の時代

第三節 帝國主義の發展
 帝國の構造 1. 本國 Motherland.
 2. 屬地 a. 本國の特権により建設された自治地
 b. 異民族
 3. 保護地 a. 本國の特権により建設された自治地
 b. Schutzgebiete (本國の特権)

の発展あり。もとよりイギリスの政治が古に自由主義を放棄したわけには行かなかった。Gladstoneの下に自由主義の政治は長く行はれたが、主観的には植民地獲得戦争に反対であり、彼の内閣にも反対意見はあった。植民地の政策は漸次行われ、かつて新植民地が行はれたと見れば、時代の変化を知り得べし。フランスでは Napoleon III が Emperor となり、New Caledonia, Cochinchina, Cambodia, Somaliland, Mexico 等に遠征して行かれた。この "Imperialism" が talisman slogan となり、しかもそれは海外侵略の野心の代名詞として見られた。(イギリスにはこれは Imperial Federation の発展の道徳的呼称である。)

Jan 14, 49

第三節 帝國主義の發展

一國の領土的膨張は次の三つの型態あり。

- (1) 本國の植民地領域に本國人が移住し、その地域が本國の一部に編入される場合。例へば半島の西進運動あり。(ロアの中央アジア及び中亞細亞植民地)
- (2) 本國人の移住により建設された植民地も、地理的關係により本國の一部に編入される。例へば政治的植民地を持つ場合。英國の Dominions あり。(Australia, New Zealand)
- (3) 異民族の居住地を保護し、之を植民地として統治する場合。

この帝國主義として特に典型例は前三の場合に於て、本國の利益に服する植民地としては獲益の属領の外に、

4. 保護地、金銀産地、居留地。
5. 委任統治地、託管地。
6. 政治的の内部改善をする。Bloc 空想。→ 世界連帯論
7. 世界連帯論 (Puppet state) 本國の特権により建設された自治地
8. 世界連帯論 (World Politic.)

保護地、委任統治地、託管地あり。之は 19th 末より 20th に入り、第一次世界大戦が終はれたの頃末を待つては、各國が領土を割る競争に際し、國際的及び国内的 friction を避けて領土擴張の目的を達すために、寧ろ世界中の自由貿易の確立に努めた。第一次大戦後、各々の一大塊の地域 (eine grosse Wirtschaftsgebiet) あるいは広域市場 (Grossraumwirtschaft) の要求は、少しも衰へたことが査察でき、たゞその支配圏は本國の政治的支配の直接に及ぶ地域、即ち帝國の範圍を拡張する最上の政策として、Bloc 經濟の形をとるに至り、その理由は次の如し。

- (1) 各々の資本主義は市場的及び資源的基礎と範圍との拡大を必要とする。
- (2) 各々の資本主義は市場を求め、軍事的に強大し、戦争の場合に際して軍事的な見地から自給自足 (autarkie) の確立を要する。
- (3) 小國に於ける民族國家主義は帝國主義の對立の現象として現れ、(第一次大戦後の民族自決主義)
- (4) 新植民地、軍事的政治的帝國主義の費用の節約。

June 17

Bloc 經濟は國際的團體の形成と前とす。實際は國際的軍事の支配に及ぶものであり、その政策の反動として、予備の準備に伴い、何時に

- (1) 世界連帯論あるいは世界植民地論、植民地への影響

2. 銀行資本と証券資本とが融合し、この金融資本の基礎の上に金融寡頭政權の成立すること。

3. 高尔基认为我们应当尊重人的自由和意志。
4. 资本家的利益和职工利益或主与仆的分割的。
5. 资本家强占工人的世界的领土的分割的终结。

かかる時代に於ては資本主義経済の帝國間の膨脹の要求は火薬則と有り、而してそれは必然的に帝國主義競争となる。
帝國主義を以て既に資本主義の ~~必然~~ 結果と見る。 ^(領土獲得並に富の集中の爲め)
は言葉の争ひ ^に、帝國主義は既に資本主義と本質的に一致せるものなり。
然る資本主義が必然的に帝國主義となる、換言すとは ~~資本主義~~ 膨脹を必然的に要求する、既に既に述べた如く。

(1) 平均利潤率の低下傾向の阻止、
 資本の集中と集積が巨大化するに伴い、資本の量は^倍増大するが、相対的に資本の有効的構成、 C の増大は速く、 V の増大は遅い。このことは、強制償還率に变化する限り $\frac{M}{C+V}$ 、平均利潤率 $\frac{M}{C+V}$ の低下を招き、遂に C は M の生産に直接参加するようになる。即ち資本の量の増加に伴い、利潤の総量は増すが、資本の総量に占める利潤の総量の割合、即ち利潤率は低下傾向にある。この傾向を阻止する方法としては

(a) 鉛鉛便伝率と高く相成、 $(\frac{M}{V})$ 。一之は鉛御幣帳の
引下、鉛御幣の延長、若しくは鉛御幣帳、向上によりて違ひる。

(b) C の価値を小さくすると、買主は不要物の使用価値を減らすべくして、価値を ~~減らす~~ 小と適切に $\frac{M}{C+D}$ の値

を大に引くは引く。

(c) r の値を小さくすること、又は $\frac{M}{C+V}$ の使用価値を減らすこと、 ch に相当するものは、 $\frac{M}{C+V}$ の値を上昇させたことになる。

以上を 花火地についで見る。

(1) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(2) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(3) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(4) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(5) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(6) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(7) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(8) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(9) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、
(10) 花田地方の石の主要への輸入... 岩の採掘率の上、

(ii) 掘地より無償の土砂を~~採取~~及~~運搬~~する
 其~~の~~の輸入は^土を~~土~~に~~する~~ C & W の資金負担を小
 減し、おのずから利益を認めし。 日 Oct 28, 1948

(2) 製造材料の獲得.

(a) 商業利潤の獲得……資本主義社会内部に於ては
利潤は流通の過程で初めて得られ、商業利潤は生産者の
利潤の一部讓渡の外に生ずるもの、転じて貨幣、即ち金貨
が非資本主義社会から^{新産業}生ずる重要な媒介手段となつたこと
の場合には、~~商業~~不平等交換が行はれ、従つて商業流
通による搾取が生じ、利潤が獲られた。これは資本主義
社会と非資本主義社会との間の不平等交換である。

(6) 由丁巳年...
 此...
 生...
 親...

国内市場の収縮を免れ、巨大な電力を外部に輸出する競争し、dumpingを敢行す。これは国内の競争に勝つための手段である。輸出に成功すれば、国内市場の拡大と、extra profit 獲得の基盤を大にするのである。

July 1, 1947

(c) 他国の利益の増進。これは資本主義の発展に伴って行われるもので、他国内に於ける利益の増進である。

以上の諸点に於ける利益の増進が資本主義の発展の基盤となるのである。

(3) 恐慌の回復

恐慌の起る原因は三つあり。

(a) 生産と消費の不均衡。生産は常に消費を上回る傾向がある。これは資本主義の本性である。生産は常に消費を上回る傾向がある。これは資本主義の本性である。生産は常に消費を上回る傾向がある。これは資本主義の本性である。

(b) 消費の購買力の不均衡。消費は常に生産を上回る傾向がある。これは資本主義の本性である。消費は常に生産を上回る傾向がある。これは資本主義の本性である。

(c) 資本主義の発展に伴って行われるものである。

以上は生産と消費の不均衡、消費の購買力の不均衡、資本主義の発展に伴って行われるものである。

(b) 生産部門の不均衡。

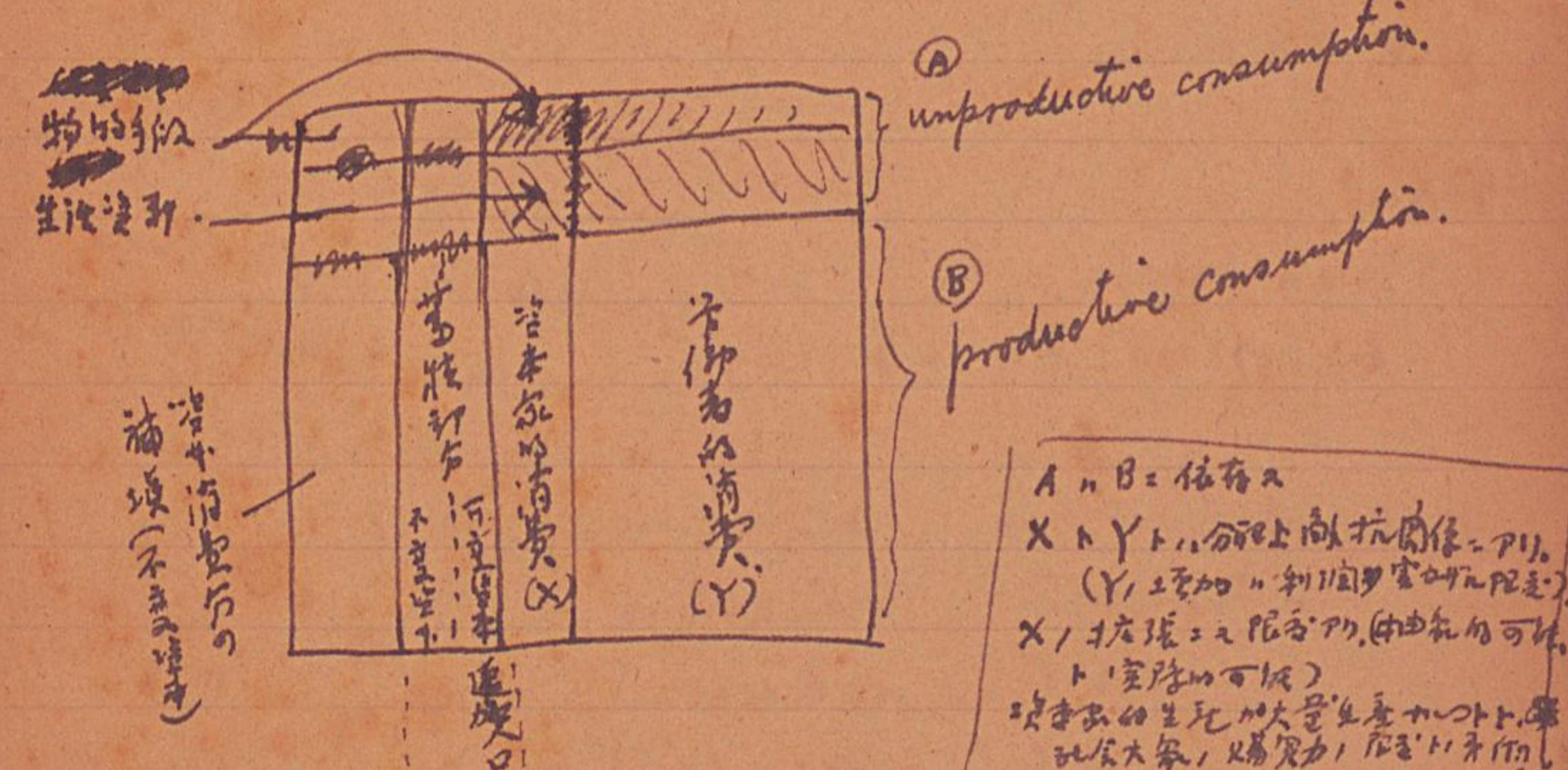
$$I. \text{ 部門 } C + V + M = P$$

$$II. \text{ 部門 } C + r + m = p$$

$$V + M = c \text{ だとする。}$$

(c) 固定資本の流動と、貨幣と、信用の不均衡。

資本主義の発展に伴って行われるものである。資本主義の発展に伴って行われるものである。資本主義の発展に伴って行われるものである。



資本主義の発展に伴って行われるものである。資本主義の発展に伴って行われるものである。資本主義の発展に伴って行われるものである。

恐慌回復に伴って行われるものである。

1. 資本市場 (消費) による。
2. 資本市場 (消費) による。
3. 資本市場 (消費) による。

I. 恐慌回復に伴って行われるものである。II. 恐慌回復に伴って行われるものである。III. 恐慌回復に伴って行われるものである。

移民の要素

1. 人口に対し.
2. 失業に対し.
3. 賃金(生活水準)に対し.

移出者. "systematic colonization"
移入者. — U.S.A. への移民は不平等な労働者の内移.

4. 利潤に対し.

移出者
移入者.

5. 生活水準に対し.

移民.

戦争の要因として.

その経済的経路の戦争として

relative importance
(経済の工業的発展に依る)

National Bureau of Economics, 1931

International migrations

Vol I. Statistics

Vol II. Interpretations.

又及ぶとの開きれは資本の不平等な移入.

4. 資本主義の自己拡大.

資本主義の自己拡大は、資本主義の発展の必然的な結果である。

資本主義の自己拡大は、資本主義の発展の必然的な結果である。資本主義の自己拡大は、資本主義の発展の必然的な結果である。資本主義の自己拡大は、資本主義の発展の必然的な結果である。

以上は価値の観念より、資本主義の必然的な発展を考察したもので、使用価値の観念より、地球上に於ける資本の分布の不均衡なること、資本主義の自己拡大は、資本主義の発展の必然的な結果である。

又、使用価値の観念より、使用価値に對しては、社会主義は資本主義以上に広範囲の領域にわたる国際市場を欲する性質をもつ。この場合、この市場は、資本主義の自己拡大の必然的な結果である。

第二章 民族意識

第四節 民族の地位

(一) 民族の範囲と内容は「史」に遷変す。

(a) 一つの民族の自己拡大 (他の民族の要素を吸入すること)

(b) 民族の融合により新しい民族の形成。

(c) 一つの民族の植民地が發達して別個の民族を形成すること。

(d) 世界の諸民族相互間の経済的・社会的・文化的交流により、~~種族意識~~ 民族の要素に共通の要素を埋し、人類の世界的意識が發生すること。

(e) 国際経済の範囲が拡大することに伴い、^{民族意識} 民族意識が包含する生活共同体 (共同體, Gemeinschaft) が成立し、それに基いて民族意識が ^{社会的な} social groups の意識が成立する傾向。

(f) 遂に民族は消滅して単一の人類社会が成立するべきか。この點は、民族の存続と民族の消滅の存続と否に對する必要あり。民族は其の範囲及内容の變化に對する、世界に存在し、その「史」上の地位が地理的・自然的・風土の特殊性は、果して民族の存続の基盤となり、併しその存続は、民族の政治的・経済的・文化的永遠の存続を意味するに非ず。換言すれば人類の世界的平和の達成に「民族意識」は、新の地位規定を要求するに止る。これは二つの點に對して行はる。

(1) 民族意識の Träger は Bourgeoisie 階級に在るか。

Proletariat 階級に在るか。民族意識の形成は、この二つの階級の間に在るか。

Proletariat 階級の民族意識が形成される。

これは、文化の階級的な位置に對するものである。

特色を指す

この階級の意識

民族意識の形成は、この二つの階級の間に在るか。Proletariat 階級の民族意識が形成される。これは、文化の階級的な位置に對するものである。特色を指す。この階級の意識。

第二章 民族意識

第四節 民族の使命

(一) 民族の範囲と内容は丁度的に変遷す。

(a) 一つの民族の自己拡大 (他の民族の要素を包含せしむ)

(b) 民族の融和による新しい民族の形成

(c) 一つの民族の植民地が發達して別個の民族を形成す。

(d) 世界の諸民族相互間の経済的・社会的・文化の交流により、~~種族意識~~ 民族の要素に共通の要素を具し、人類の世界的意識が發生す。

(e) 國際経済の範囲が拡大するに従ひ、^{この}種族意識を包含する生活共同体 (共同體, Gemeinschaft) が成立し、それに基いて民族意識が交わり、^{社会的な} social groups の意識が成立すといふ。

(f) 遂に民族は消滅して単一の人類社会が成立するべき。この見方は、民族の存在と民族の消滅の相対性を正しく示す必要あり。民族はその範囲及内容の变化に拘らず、世界に存在すべし。その丁度とての地位は、地理的・自然的・風土の特殊性は、果して民族の存在の基礎なり。併し、この事は必ずしも民族の政治的・経済的地位が永遠不變であるを意味しはしない。按ていば人類の世界的平等の趣に民族意識は漸く消滅せざるを要するといふに可し。これは二つの点に注意せらる。

(1) 民族意識の Träger は Bourgeoisie 階級なり。

Proletariat 階級階級として民族意識を抱くことは、
Proletariat 意識としての民族意識が成立す。

(2) 種族意識及文化の世界的統一に寄与するのみならず、民族意識は人類の進歩に對して反動的なり。各民族の特色を保持しつつ人類共同の発展に寄与する意識と目的を以て、^{種族意識} 民族意識は肯定せらるべし。

[illegible]

挿入文書

挿入文書

Capitalism & Imperialism

1. Rein-Theoretisch (資本主義と帝国主義の理論)
a. 平均利潤率
b. 競争の問題
c. 資本主義の自己拡大

2. 資本主義の競争
a. 競争の理論 (理論的)
b. 競争の発展
c. 資本主義の競争の理論
世界社会主義 - 社会主義
Social-Imperialism

大正 八 大學志願二

需要

一姓名ニハ片假名ヲ付スヘシ
一經濟學科入學志望者ハ外國語、英語、佛語若クハ獨逸語選修ノ區
一商業學科入學志望者ハ外國語、英語ト括弧内ニ記入スヘシ
一入學志望者ハ第一志望學科何第二志望學科何ト記載スヘシ

入學願

生儀
學習
院高等學校
文
科
（入學後ノ）
英語
ハ入學志願ニ

試驗科目
外國語
英語
宿所

挿入文書

第一章 國民之義と子供之義

第一次世界大戦後の ~~世界~~ 子爵 隆伯乃子 子爵 政弘の屋敷に, Kantaky

は執事主義の可能性を論議したもので、これは既に述べた通り
 社会的環境と、^{社会的環境} 社会的資本の形成の傾向が押し進められる時は、^{社会的資本} 社会的
 の部子主義者の資本主義階級は、^{社会的資本} 社会的の形成をつくり、これに押し進められ
 なる階級が階級化対立する可能性の主要な。別な言を以て
 いへば執事主義の形において、^{社会的資本} 社会的が或る可能性の
 批評あり。Leninの部子主義論はこのKautskyの立場に反対を
 して著述したもので、この論議は、^{社会的資本} 社会的の形成の
 相互連立の差をいふもので、この部子主義論は、^{社会的資本} 社会的の
 形成、資本主義の形成、そして植民地における部子主義の
 antipode ^{align} ~~の形成~~ ^{の形成} の関係を見出し、一方、
 部子主義の形成の傾向を強化するもので、而して第一次大戦後の軍事
 階級 Wilsonの民族自決主義の判断の下に、^{社会的資本} 社会的の nationalistic
 意識を強化し、かゝる状態の下に、^{社会的資本} 社会的の形成、^{社会的資本} 社会的
 一方には部子主義の形成の促進と共に、^{社会的資本} 社会的の形成

第一章 國民主義と民族意識

第一次世界大战后的世界 罗斯福的日记 罗斯福的日记 罗斯福的日记, Kantaky
是执掌世界的可能性也 罗斯福的日记 罗斯福的日记 罗斯福的日记

各階所選の二形式が取られ、これは二階主成分と階主成分の二の
年表を列。

即一次大群紋の子群連合を原理的に以て之と異列す

第一節 王際平先生也界子家

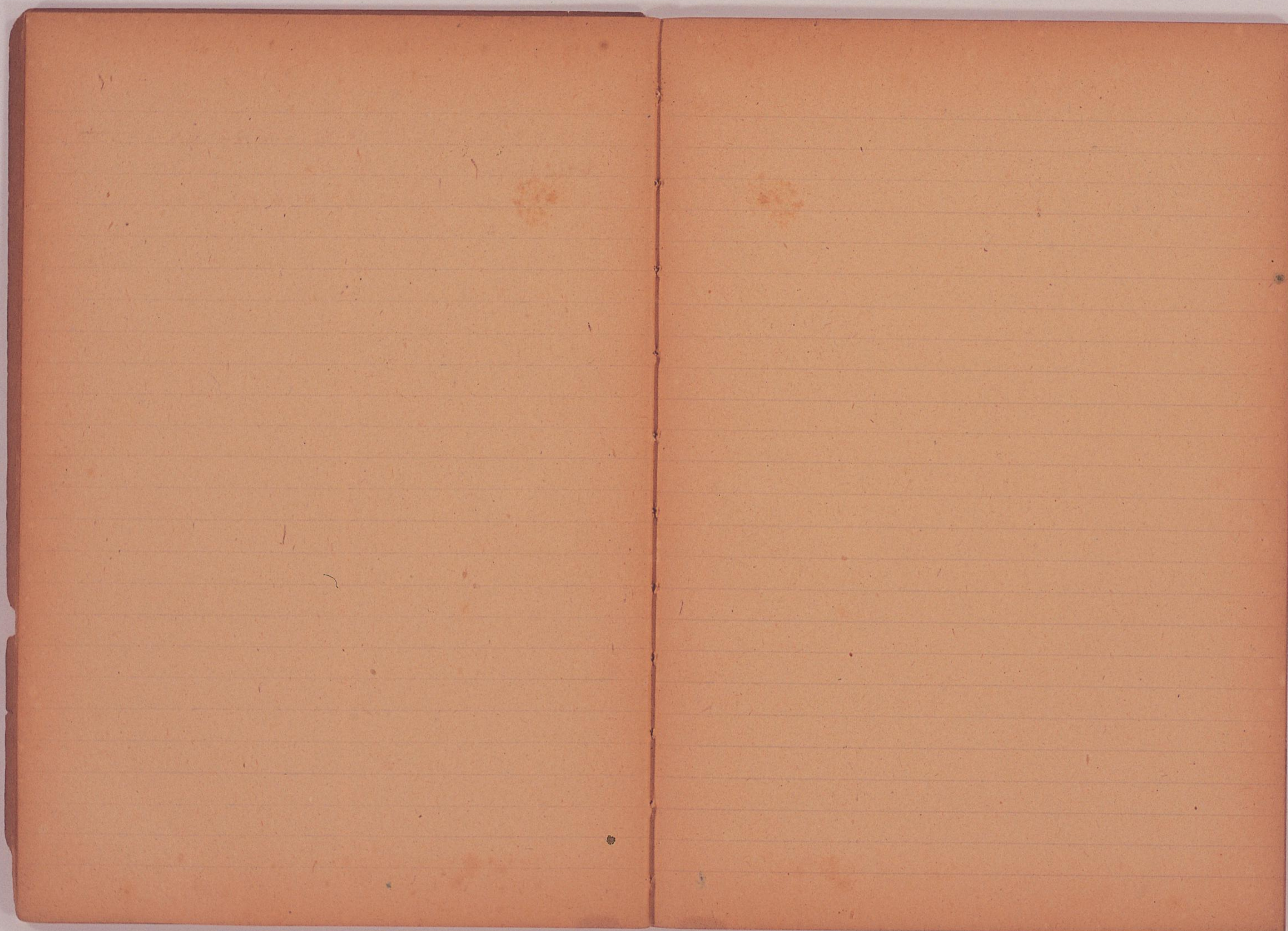
新教の民族主義の下に於ては、幸福の繼承は自子の爲に之を危険とし、
 之を拒む。之は本階級の發達は、此の世に於て所有する家と階級の上には、
 其他階級の一大都市に偏在し、其の爲に、富の階級の上には、富の階級の世襲的
 に維持される。又自子の需要の爲に、此の世に於て、自子の所有する
 富を維持する。Adam Smith は one great Commercial Republic とい
 へば、之を以て、其の階級の下に於ては、其の階級は之を三つの階級に

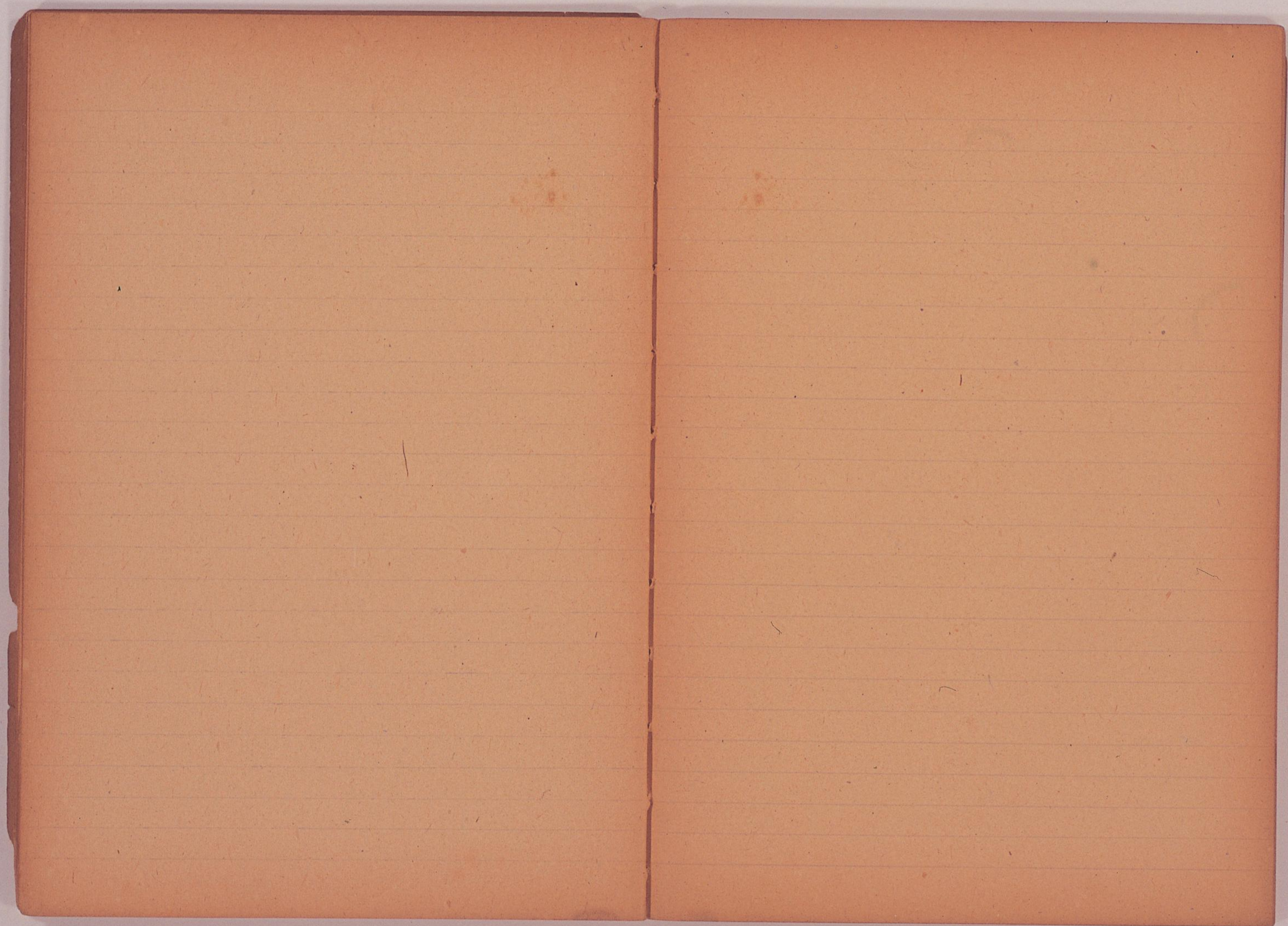
(1) 金子と銀が相互に市場と交換し、——銀行の政策により、利率を低くして金と銀との相互に流通の如き得下。必ずしも増大一切高貴及び貨幣の流通の如きを得ず。(貨幣交授の世界)

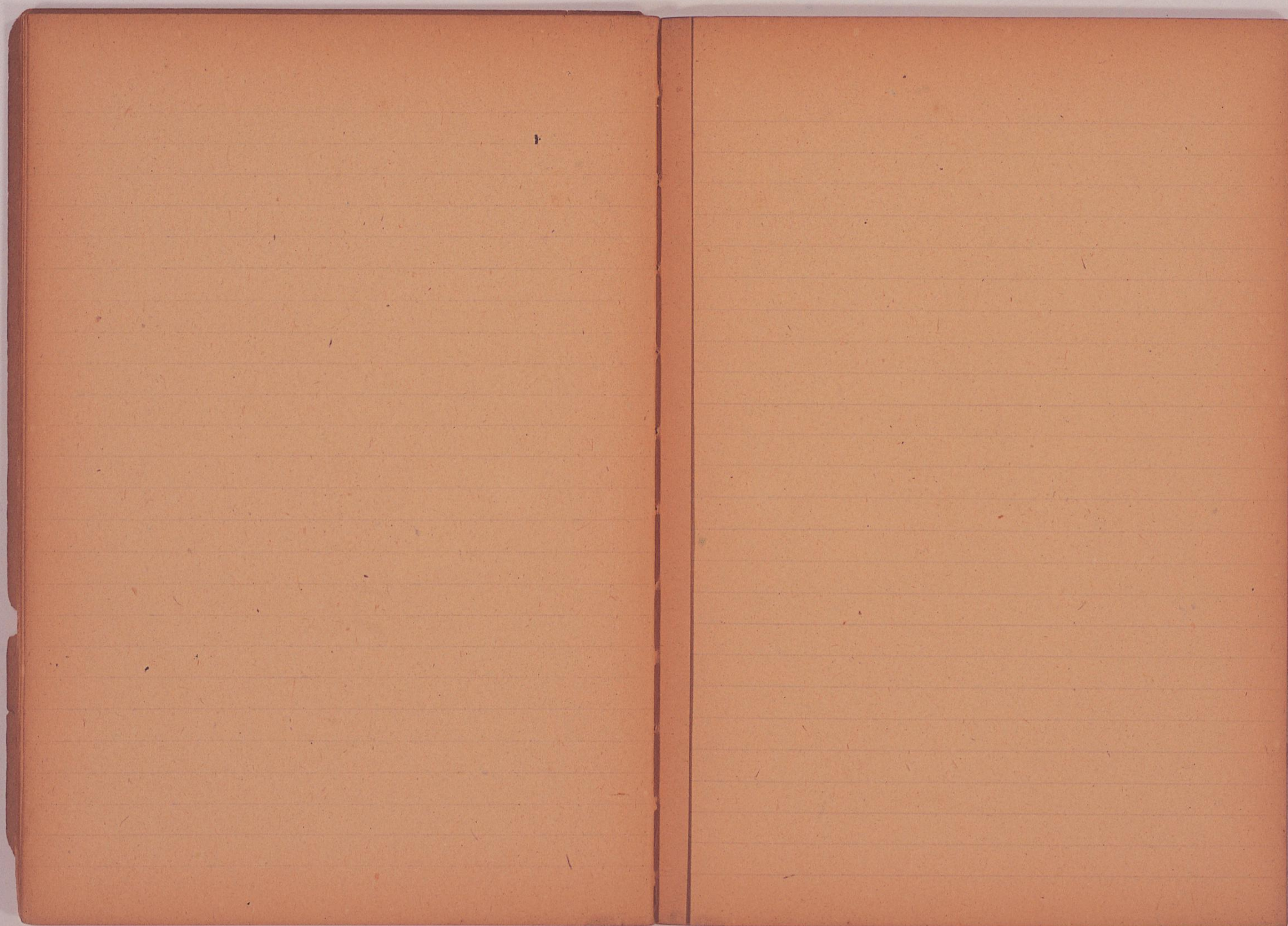
(2) 常世臣民と後進臣民との事は一は、後進臣民の常世臣民の發達を制止する一面と、主として
 和へてから常世臣民自身の不利益一切を排除し、後進臣民の生活の發達は常世臣民の生活と同一と
 有せしめられ不可避なるが、^{後進臣民の政治的}この意味の意義が「常世臣民の生活の發達」に於てあり、これに
 より、後進臣民の利益に關係する國情の要なる所を、（不平等交際の世界）

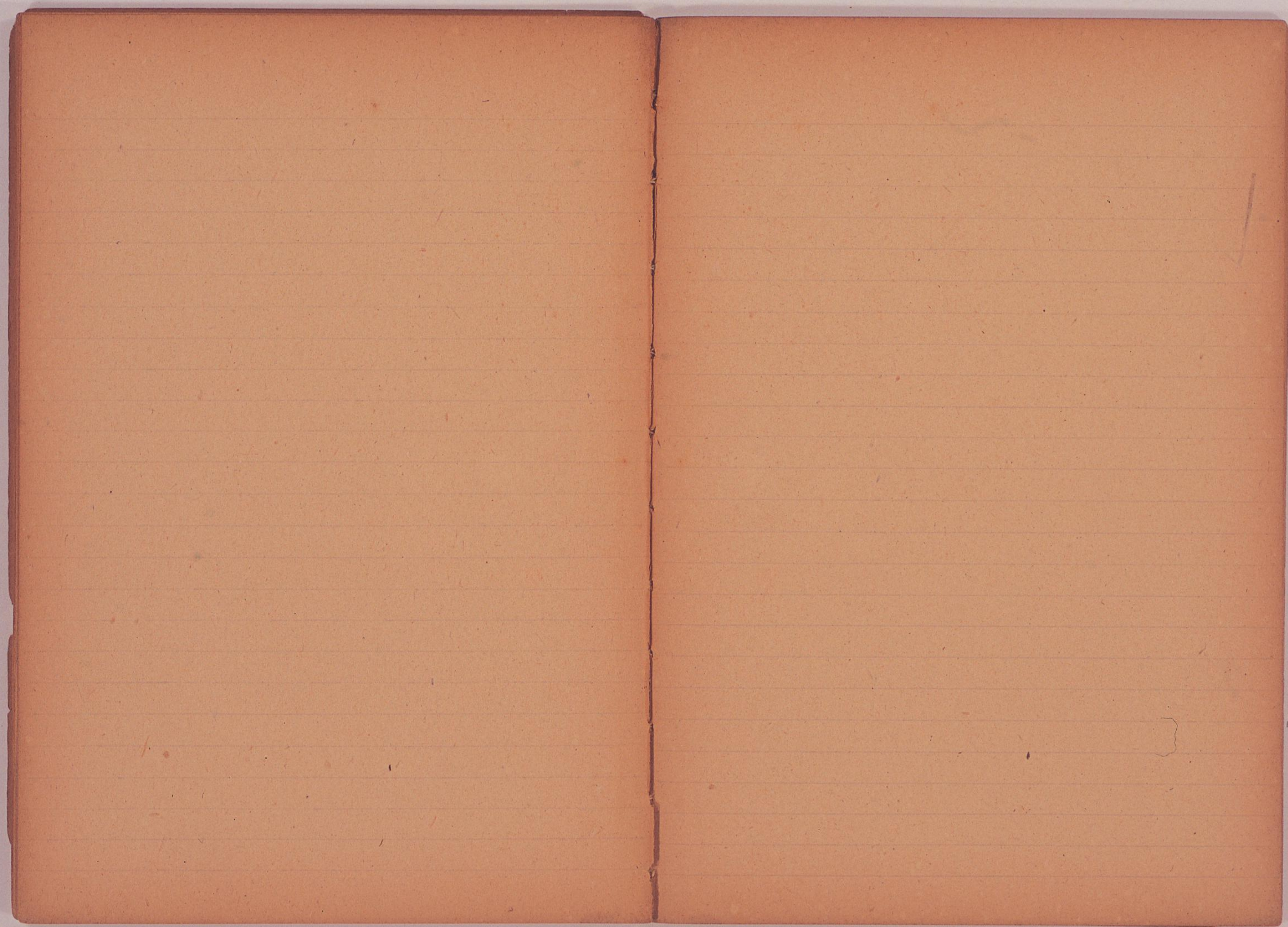
要約に各院議長の発言は各民族主義の政治的区分に拘らず、世界の諸民族を一つの共同生活圏内に編入し、このため世界の諸民族が時空的^{政治的}関係を一画には消化せられず他面には緩急^{必要}の政治意識を起さぬ。各政治国家は現在ある即ち前子^{他民族との交渉}の利益を追求しようとすると同時に、自国を世界の一部として、世界諸民族の共通の運命を認識し、世界の繁栄と利益を促進するに努めようとする。また利益を主張せんとする意欲が、他種なる各政治国家の経済活動の交差作用、その交差作用により各政治国家の枠組みが考へられ、体制が形成せらる。各際所望及び各政治連合はかかる既成の枠組みとし、それが各院平等性を保障する能力には、既成の枠組み上にある限り一致し得る。これは依然として internationalism の基礎の上に立ち、主権は所有する諸国家の決定にゆだねられている。以上一語をすらすらと世界諸民族を一つの法により組織する制度。即ち世界王座 World-State の成立を意味する。彼等は世界諸国家の組織の連関から研究した法の政治的表現を發揮し、この法の政治的組織により各院政治及各院文化が更に有機的に進歩発展せられ、世界平和が保障せられることをいふ。 Norman Angel, Emergency Review, Kitchener.

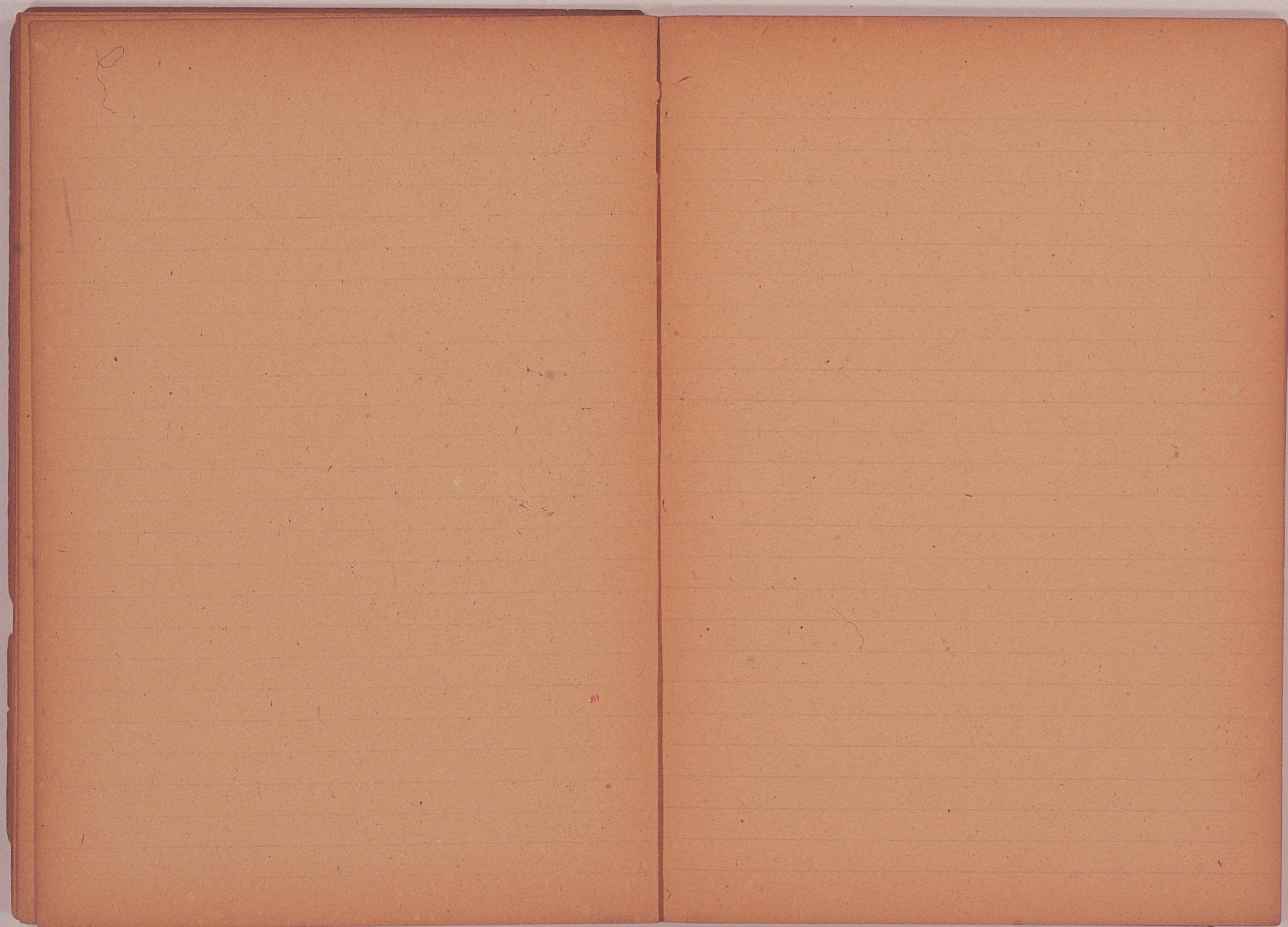
世界は理想の要求の、之に具体の基礎をよめるは、子陸院は、平等文化の自由
ある、家、親と教養を以て、之を自由、に教養を以て、之を自由、人類は世界、平等の現象と
自由を、常に、平等の文化の、自由、





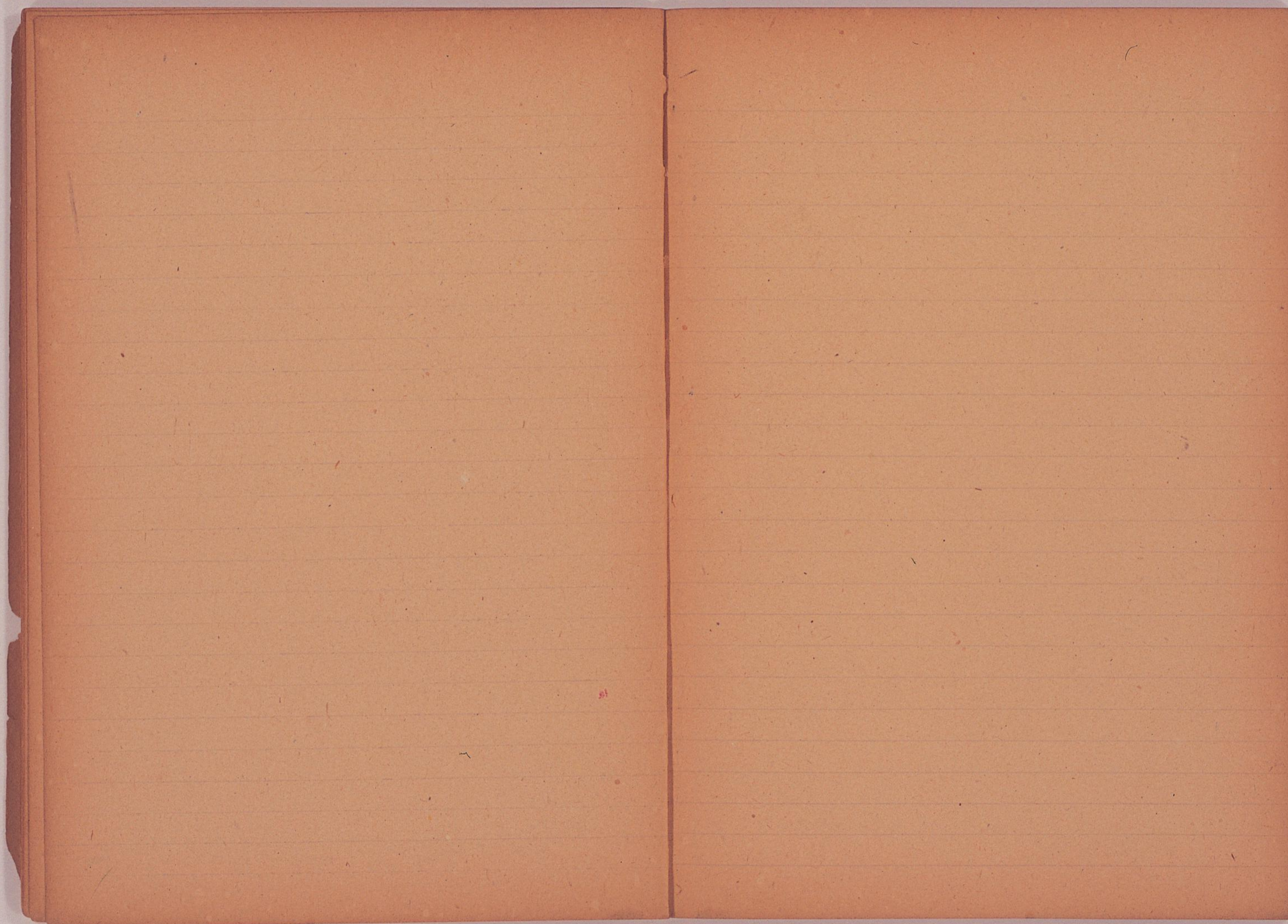






説明 ターゲット

これより最終
ページまで白紙に
なりますので撮影
を省略します。



社研部增設程序與理由一般的說明

1. 創設當時理由說明並計畫

(學務)

2. 創設後之活動狀況 - discussion group: 備德、蕭、郭、施。

3. 增設理由。

a. 原計畫之有樣之一律性。 { 各地域、
各部門。

b. area method 之需要。

c. 綜合的、共同研究。

d. 理論的、工廠的、實際的調查 (social survey)。

e. 五隊的調查 (米人之興趣)。
(協力)

4. 今後需求與部門
大學、中國、T.S.



甲六ノ一ト一 四十枚